

令和 6 年 度

主要な施策の成果

京都府宇治田原町

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)1 一般管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
14 物価高騰対応調整給付金支給事業費 (歳入歳出決算書 P. 55)	75,767 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 56,935 補正予算額等 18,832 合計 75,767〕	75,361,697 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 物価高騰対応重点 支援地方創生臨時 交付金〕	「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づき、賃金上昇が物価高に追いついていない国民の負担を緩和するため、デフレ脱却のための一時的な措置として、所得税・住民税の納税義務者のうち、定額減税を十分に受けられない方へ調整給付金を支給した。 〈内容〉 ○対象者 定額減税可能額が減税前税額を上回ると見込まれる所得税・住民税の納税義務者 ○支給者数 1,685名／1,726名(支給率97.6%) ○支給額 69,940,000円 ○事務費 5,421,697円(会計年度任用職員報酬、システム導入委託料等)	税住民課

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 第6次まちづくり総合計画策定事業費 (歳入歳出決算書 P.57)	9,150 (参考：予算現額内訳) 〔 当初予算額 9,150 補正予算額等 - 合計 9,150 〕	8,200,180 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名) 〔	本町のまちづくりの基本的な指針である「第5次まちづくり総合計画」及び第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間の満了を見据え、令和5・6年度の2か年にて本町の実情に応じた新しい次期計画を一体的に策定するため、諮問機関である宇治田原町まちづくり総合計画審議会の運営をはじめ、団体懇談会、パブリックコメントを実施し、議会での議決を経て、第6次まちづくり総合計画を策定した。 〈内容〉 ○宇治田原町まちづくり総合計画審議会(外部諮問機関) 令和5年8月24日設置。第6次まちづくり総合計画等の策定にあたり審議を行う諮問機関として計18名の委員で構成。 会長：谷口 知弘 氏(福知山公立大学教授) 開催数：4回(令和5年度から累計7回開催) ○宇治田原町まちづくり総合計画策定会議(庁内検討組織) 策定会議4回(累計7回開催) ワーキンググループ2回(累計3回開催) 計画構成、内容等を整理検討し、基本的な考え方を定める庁内組織。(議長：副町長) 若手職員によるワーキンググループも設置 ○団体懇談会 「子育て世代」「転入者」の方がメンバーとして在籍されている団体を対象に実施 ○パブリックコメント 募集期間：令和6年11月11日～令和6年12月10日 募集結果：提出者11名 提出意見30件 ○計画の議決 基本構想及び基本計画、総合戦略を3月議会に上程、可決	企画財政課

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 「ミラチャレ」パワーアップ研究・発信事業費 (歳入歳出決算書 P.57)	652 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 1,542 補正予算額等 △ 890 合計 652〕	579,066 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 〔きょうと地域連携 交付金〕	ふるさと納税等を活用した子どもたちの夢を応援する特色ある取組「未来挑戦隊チャレンジャー育成PROJECT(ミラチャレ)」について、情報発信の強化を図るとともに、ミラチャレの進化・発展を見据えた研究を進めた。 〈内容〉 ○夢応援「みんなが未来挑戦隊チャレンジャー」事業 子どもたちが将来の夢に変身した姿(=ヒーロー)等の写真を撮影。オリジナルポスターにすることで、夢実現への意欲につながってもらった。集合版ポスターは、ミラチャレのキービジュアルとして活用。 実施日：8月23日・24日 場 所：宇治田原町役場 参加者：10組14名 ○ミラチャレPR・関係人口創出イベントへの出展 首都圏で開催されるリアルイベントにブース出展し、関係人口の創出・強化とともに、来場者や首都圏メディアへのミラチャレのPRを図った。 イベント概要 実施日：11月11日・12日 場 所：パシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい) 来場者：14,063人/2日間(出展130自治体) ○ミラチャレ進化・発展の検討 ふるさと納税の使い道事業等の取組の先進自治体を視察し、調査研究を進めた。 視察概要 実施日：10月7日・8日 場 所：島根県雲南市 まちの担い手育成や地域課題解決にふるさと納税を活用する「スペチャレ」制度等を視察	企画財政課

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																													
6 ふるさと納税推進事業費 (歳入歳出決算書 P.59)	132,883 (参考：予算現額内訳) 〔 当初予算額 100,000 補正予算額等 32,883 合計 132,883 〕	124,997,390 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名) 〔	ふるさと納税を通じて、地域ブランドのPRとまちの知名度アップ、地域産業の活性化を推進するとともに、未来を担う子どもたちへの事業展開のための寄附増収を図った。 更に、地域資源の掘り起し・見える化により地域ブランド力を高めることで、シビックプライドの醸成に努めた。 〈内容〉 ○返礼品について、新規事業者の掘り起こしや既存事業者への提案などコミュニケーションを深め、64事業者・470品目超に拡充した。 ・事業者説明会：令和6年5月23日、参加9人 ○選ばれる返礼品・自治体をめざし、事業者と連携したCS(寄附者サービス)向上の取組(発送ラグの短縮、感想投稿の促進など)を実施した。 ○サイト掲載内容のブラッシュアップや特色ある使いみち「未来挑戦隊チャレンジャー育成PROJECT(ミラチャレ)」を含めた発信など、訴求力を強化した。 ○小中学校等のまちづくり授業等でミラチャレに取り組み、まちづくりへの関心を深めるとともに、シビックプライドの醸成を図った。 (参考)主な経緯 <table><tr><th>年度</th><th>件数</th><th>金額*</th><th>返礼品数</th><th>経過等</th></tr><tr><td>H29</td><td>1,151件</td><td>21,585千円</td><td>131品目</td><td>▶ 4月〜クレジットカード[※]支払開始</td></tr><tr><td>H30</td><td>2,684件</td><td>42,775千円</td><td>210品目</td><td>▶ 11月〜[さとふる]利用開始</td></tr><tr><td>R1</td><td>5,634件</td><td>95,106千円</td><td>240品目超</td><td>▶ 9月〜[拡充8サイト]利用開始</td></tr><tr><td>R2</td><td>8,119件</td><td>137,615千円</td><td>250品目超</td><td>▶ 全12サイトへ拡充</td></tr><tr><td>R3</td><td>9,755件</td><td>176,895千円</td><td>320品目超</td><td>▶ 全11サイトに集約</td></tr><tr><td>R4</td><td>11,012件</td><td>208,157千円</td><td>400品目超</td><td>▶ 返礼品を400品目超に拡充</td></tr><tr><td>R5</td><td>11,078件</td><td>218,289千円</td><td>420品目超</td><td>▶ 全12サイトへ拡充</td></tr><tr><td>R6</td><td>13,671件</td><td>266,349千円</td><td>470品目超</td><td>▶ 全16サイトへ拡充</td></tr></table> *表中の金額は千円未満四捨五入	年度	件数	金額*	返礼品数	経過等	H29	1,151件	21,585千円	131品目	▶ 4月〜クレジットカード [※] 支払開始	H30	2,684件	42,775千円	210品目	▶ 11月〜[さとふる]利用開始	R1	5,634件	95,106千円	240品目超	▶ 9月〜[拡充8サイト]利用開始	R2	8,119件	137,615千円	250品目超	▶ 全12サイトへ拡充	R3	9,755件	176,895千円	320品目超	▶ 全11サイトに集約	R4	11,012件	208,157千円	400品目超	▶ 返礼品を400品目超に拡充	R5	11,078件	218,289千円	420品目超	▶ 全12サイトへ拡充	R6	13,671件	266,349千円	470品目超	▶ 全16サイトへ拡充	企画財政課
年度	件数	金額*	返礼品数	経過等																																													
H29	1,151件	21,585千円	131品目	▶ 4月〜クレジットカード [※] 支払開始																																													
H30	2,684件	42,775千円	210品目	▶ 11月〜[さとふる]利用開始																																													
R1	5,634件	95,106千円	240品目超	▶ 9月〜[拡充8サイト]利用開始																																													
R2	8,119件	137,615千円	250品目超	▶ 全12サイトへ拡充																																													
R3	9,755件	176,895千円	320品目超	▶ 全11サイトに集約																																													
R4	11,012件	208,157千円	400品目超	▶ 返礼品を400品目超に拡充																																													
R5	11,078件	218,289千円	420品目超	▶ 全12サイトへ拡充																																													
R6	13,671件	266,349千円	470品目超	▶ 全16サイトへ拡充																																													

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
7 「ハートのまち」移住定住プロモーション事業費 (歳入歳出決算書 P.59)	1,164 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 1,164 補正予算額等 - 合計 1,164〕	974,300 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) デジタル田園都市 国家構想交付金〕	移住定住の推進に向け、「ハートのまち」他のコンセプトを積極的に打ち出すシティプロモーションを展開した。 〈内容〉 ○ハートのまちPR自治体との連携 「ハートのまち」で交流する沖縄県南城市民に向け、本町の理解を深めてもらうための啓発活動を展開 ・令和6年8月10日 第1回南城市ハートの日フェスタ メッセージの掲示 ・令和6年11月17日 第5回南城市まつり 本町リーフレット類の配架他 〈その他取組〉 ○府・振興局主催の移住セミナーへの参画 ・令和6年6月16日 つながる京都移住・交流フェア2024 京都産業会館ホール/相談件数＝6名 ・令和6年9月7日 移住するなら京都ALL KYOTO FES グランフロント大阪/相談件数＝15名 ・令和6年11月23日 京都やましろフェア もりのみやキューズモールBASE 先輩移住者による活動報告、本町PR他 ○ポータルサイト、公式Instagram「ujitawalike(うじたわらいく)」による情報発信 ・移住定住ポータルサイトアクセス数 5,109件 ・Instagram投稿等数 43件	まちづくり 推進課

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)9 災害対策費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 情報伝達システム事業費 (歳入歳出決算書 P.59)	31,937 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 33,891 補正予算額等 △ 1,954 合計 31,937〕	31,855,944 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 〔	2系統のシステム(IP告知システムと@InfoCanal(注))となっていた情報伝達システムについて、IP告知システムの@InfoCanalへの統合(一本化)を行い、システムの機能強化を図った。 (注)@InfoCanal…携帯電話網を活用した情報伝達システム。防災用長距離スピーカーにより、災害時等の緊急情報を即時に伝達することが可能。また、本システムでは、防災アプリによるスマートフォンへの情報配信も可能。 〈内容〉 ○@InfoCanal機器更改・統合業務 25,833,500円 統合により、IP告知システムの有線ネットワークから無線ネットワークに変更となったため、物理的な破損による通信網の遮断を防ぐことが可能となった。 ○@InfoCanalサービス利用料 3,745,500円 ○システム保守委託料 2,103,937円 ○電気代等 173,007円	総務課

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)9 災害対策費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 災害時避難所物資整備事業費 (歳入歳出決算書 P.59)	3,105 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 3,418 補正予算額等 △ 313 合計 3,105	2,885,200 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	宇治田原中央公園や避難所に生活物資の備蓄や防災資機材の整備・充実を行い、住民が安心して暮らすことができるまちづくりの推進を図るとともに、能登半島地震の発生を受け、地震防災対策として、設置型組立式給水タンク等の購入を行い、備蓄物資の更なる拡充を実施した。 〈内容〉 ○設置型組立式給水タンク 3基 ・購入金額 1,539,450円 ・容量 1,000リットル(1基あたり) ※地震などにより、水道が断水した場合に、当該地域の公民館や避難所等に設置予定 ○避難所用災害用備蓄食糧の配備 195,210円 アルファ米及び飲料水を宇治田原小学校に配備 ・アルファ米〔保存期限5年〕 500食 ・飲料水(500mlペットボトル)〔保存期限10年以上〕 504本(24本×21箱) ○宇治田原中央公園用災害用備蓄消耗品の配備 706,860円 ・難燃毛布 100枚 ・アルミマット 100枚 ・軍手 300双 ・防災救急セット 50人用 ・薪 20束 等 ○福祉避難所用備蓄物資 47,680円 ・医薬品等 ○小型造水機保守点検 396,000円	総務課

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 公共交通利用推進事業費 (歳入歳出決算書 P.61)	3,281 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 3,521 補正予算額等 △ 240 合計 3,281〕	3,203,300 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) デジタル田園都市 国家構想交付金 きょうと地域連携 交付金〕	町地域公共交通活性化協議会での審議のもと、町内外をつなぐ基幹公共交通機関である路線バスへの接続と維持確保のための地域公共交通の検証・利用促進のほか、地域公共交通計画に定める各交通施策の推進に取り組んだ。 ※うじたわLIKE(らいくはーと)バス・タクシー 町内の公共交通を区域運行「予約型乗合タクシー」と交通空白地有償運送「町営バスの再編・有償化」の二つの有償運行を併用した体系として運行 〈内容〉 ○地域公共交通活性化法に基づく法定協議会である町地域公共交通活性化協議会を開催(3回) ○標準的なバス情報フォーマット(GTFS-JP)への対応 ○運行の効果検証(OD調査の実施等) ○利用促進・啓発活動等 ・主要バス停での利用促進活動(計1回) ・生涯学習(ことぶき大学含む)の中での啓発活動(計3回) ・イベント・催事での啓発活動(計6回) ・うじたわら健活フェスタ、町商工祭(利用促進ブース) ・公共交通利用促進活動「バスに乗っておでかけ!」 ・子育て支援センター、小・中学校等との連携事業(計5回) ・SNSを活用した啓発活動(フォトコンテスト/投稿数=71作品) ○広域幹線〔京都京阪バス〕に係る勉強会(計3回)	まちづくり 推進課

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
5 「新しい地域公共交通」運行事業費 (歳入歳出決算書 P.61)	15,036 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 15,036 補正予算額等 - 合計 15,036〕	14,732,553 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 〔市町村地域生活路線支援補助金 きょうと地域連携交付金〕	地域住民の日常的な交通手段を確保するため、令和4年10月から道路運送法に基づき交通空白地有償運送として「うじたわLIKE[●](らいくはーと)バス」を、デマンド型(予約制)乗合タクシーとして「うじたわLIKE[●](らいくはーと)タクシー」を運行した。 〈内容〉 ○うじたわLIKE[●](らいくはーと)バス ・利用実績 5,950人 ・乗車料金 1人1乗車当たり大人300円、小人100円 (地域応援定期券、1日乗り放題券有り) ・運行日 月曜日～金曜日(祝日、お盆・年末年始期間を除く) ・その他 スクールバスをダイヤに組み込み運行 (対象児童・生徒は無償、地域住民も混乗利用可) ○うじたわLIKE[●](らいくはーと)タクシー ・利用実績 1,397人 ・乗車料金 1人1乗車当たり大人300円、小人100円 (地域応援定期券、1日乗り放題券有り) ・運行日 月曜日～金曜日(祝日、お盆・年末年始期間を除く) ※旧コミュニティバス運行地域のみ、一部地域負担により休日も運行 ・運行区域 高尾全域、南、立川、岩山、郷之口の一部	まちづくり 推進課

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
8 JR奈良線高速化・複線化事業費補助金(繰越) (歳入歳出決算書 P.61)	2,487 (参考:予算現額内訳) 〔当初予算額 2,487 補正予算額等 - 合計 2,487〕	2,487,000 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	町外での鉄軌道を利用する本町住民の利便性向上に資するため、京都府及び近隣市町と一体的に、JR西日本が実施するJR奈良線の高速化・複線化第二期事業を支援した。 〈内容〉 ○事業実施主体 西日本旅客鉄道株式会社 ○事業概要(主な内容) 道路諸設備新設、新旧ホーム・駅設備撤去、軌道新設・撤去、電気設備支障移設、電気設備新設、工事事後調査・補償等 ○高速化・複線化第二期事業の事業進捗 ・JR奈良線 全延長 34.7km 第一期整備延長〈平成9年度～平成13年度〉8.2km(24%) 第二期整備延長〈平成25年度～令和6年度〉14.0km (第一期整備と合計で22.2km 64%) ・第二期事業開業時期:令和4年3月 ・第二期全体事業費:40,340,000千円	まちづくり推進課

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 低所得世帯への物価高対応支援給付金支給事業費 (歳入歳出決算書 P.69)	20,409 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 29,633 補正予算額等 △ 9,224 合計 20,409〕	20,224,148 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 物価高騰対応重点 支援地方創生臨時 交付金〕	「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づき、エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい世帯への負担軽減を図るため、令和6年度住民税非課税世帯等に対して「低所得世帯への物価高対応支援給付金」を支給した。 〈内容〉 ○支給対象世帯 ①令和6年度分の住民税均等割が非課税である世帯 ②令和6年度分の住民税均等割のみ課税されている世帯 ※令和5年度に同給付の対象となった世帯を除く ○支給額 1世帯当たり 100,000円 18歳以下の児童がいる世帯は、児童1人につき50,000円加算 〈実績〉 ○支給額等 18,050,000円 ・非課税世帯 110世帯／132世帯 = 83.3% (返送等率 = 84.1%) うち子ども加算 13世帯 児童25人 ・均等割のみ世帯 51世帯／57世帯 = 89.5% (返送等率 = 89.5%) うち子ども加算 7世帯 児童14人 ・合計 161世帯／189世帯 = 85.2% (返送等率 = 86.8%) うち子ども加算 20世帯 児童39人 ○事務費 2,174,148円 ・電子計算機関係委託料 ・職員手当等 ・確認書等郵送料 ・振込手数料 ・事務用品代 等	福祉課

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 障がい者自立支援給付等事業費 (歳入歳出決算書 P. 69)	342,722 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 309,747 補正予算額等 32,975 合計 342,722〕	339,709,400 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 障がい者自立支援 給付費等負担金 他〕	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)に基づき、障がい者等が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、必要となる各種障がい福祉サービス給付等の支援を実施した。 〈内容〉 ○障がい支援区分認定 〈認定調査20件、主治医意見書20件、審査会委託20件〉 587,522円 ○自立支援給付(介護給付、訓練等給付)等 〈1,708件〉 262,556,667円 ○自立支援医療給付 〈610件〉 6,618,581円 ○障がい児通所給付 〈699件〉 57,405,751円 ○補装具給付(額には町単費助成含む) 〈34件〉 3,666,834円 ○軽・中等度難聴児支援 〈1件〉 19,150円 ○障がい者福祉サービス等利用支援(国制度を上回る利用者負担軽減策を府・町が協調して実施) 〈675件〉 2,242,972円 ○その他(前年度国府支出金返還金、障がい福祉サービスシステム改正・保守委託料等) 6,611,923円	福祉課

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
5 障がい者地域生活支援事業費 (歳入歳出決算書 P.69)	12,503 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 10,914 補正予算額等 1,589 合計 12,503〕	10,580,218 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 障がい者地域生活支援事業費等補助金 他〕	障がい者等が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性に応じた柔軟な事業形態による様々な事業を効率的・効果的に実施した。 〈内容〉 ○障がい者生活支援センター委託 〈3事業所〉 1,753,000円 ○移動支援事業 〈24名、1,201時間利用〉 3,323,129円 ○日中一時支援事業 〈5名、370時間利用〉 363,850円 ○日常生活用具給付事業 〈72件〉 4,295,884円 ○訪問入浴サービス事業 〈1名 49回〉 686,784円 ○その他 157,571円	福祉課

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
35 住民税非課税世帯等への価格高騰緊急追加支援給付金事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P.71)	4,365 (参考:予算現額内訳) 〔当初予算額 4,365 補正予算額等 - 合計 4,365〕	2,630,153 (補助単独の別) 〔国・府・単独(補助制度名)物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金〕	「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づき、エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい世帯への負担軽減を図るため、令和5年度住民税非課税世帯等に対して「価格高騰緊急追加支援給付金」を支給した。 〈内容〉 ○支給対象世帯 ①令和5年度分の住民税均等割が非課税である世帯 ②令和5年1月以降、予期せず家計が急変し、①の世帯と同様の事情にあると認められる世帯 ○支給額 1世帯当たり 70,000円 〈実績〉 ○支給額等 2,310,000円(繰越分のみ) ①非課税世帯 33世帯 ②家計急変世帯 0世帯 総合計(令和5年度分+繰越分)878世帯/915世帯 =96.0% (返送等率 =96.7%) ○事務費 320,153円(繰越分のみ) ・職員手当等 ・確認書等郵送料 ・振込手数料 ・事務用品代 等	福祉課

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
36 低所得世帯への物価高 対応支援給付金支給事 業費(均等割世帯) (繰越) (歳入歳出決算書 P.71)	26,835 (参考:予算現額内訳) 〔当初予算額 26,835 補正予算額等 - 合計 26,835〕	21,895,382 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 物価高騰対応重点 支援地方創生臨時 交付金〕	「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づき、エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい世帯への負担軽減を図るため、令和5年度住民税均等割のみ課税世帯等に対して「物価高対応支援給付金」を支給した。 〈内容〉 ○支給対象世帯 令和5年度分の住民税均等割のみ課税である世帯 ○支給額 1世帯当たり 100,000円 〈実績〉 ○支給額等 20,400,000円 $204\text{世帯} / 216\text{世帯} = 94.4\%$ (返送等率 = 95.8%) ○事務費 1,495,382円 ・電算システム開発委託料 ・確認書等郵送料 ・振込手数料 ・事務用品代 等	福祉課

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
37 低所得世帯への物価高 対応支援給付金支給事 業費(子ども加算) (繰越) (歳入歳出決算書 P.71)	8,608 (参考:予算現額内訳) 〔当初予算額 8,608 補正予算額等 - 合計 8,608〕	8,066,735 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 物価高騰対応重点 支援地方創生臨時 交付金〕	「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づき、エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい世帯への負担軽減を図るため、低所得者の子育て世帯に対して、世帯内で扶養されている18歳以下の児童1人あたり5万円を加算支給した。 〈内容〉 ○支給対象世帯 ①令和5年度分の住民税均等割が非課税である世帯 ②令和5年度分の住民税均等割のみ課税されている世帯 ○支給額 18歳以下の児童1人当たり 50,000円 〈実績〉 ○支給額等 6,350,000円 75世帯/77世帯 = 97.4% (返送等率 = 100.0%) 児童127人/132人 = 96.2% ○事務費 1,716,735円 ・電子計算機関係委託料 ・確認書等郵送料 ・振込手数料 ・事務用品代 等	福祉課

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
38 新たな経済対策における物価高騰対策支援金支給事業費 (歳入歳出決算書 P.71)	40,950 (参考: 予算現額内訳) 〔当初予算額 補正予算額等 合計〕	25,884,907 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 物価高騰対応重点 支援地方創生臨時 交付金〕	「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」に基づき、エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい世帯への負担軽減を図るため、令和6年度住民税均等割非課税世帯等に対して「新たな経済対策における物価高騰対策支援金」を支給した。 〈内容〉 ○支給対象世帯 令和6年度分の住民税均等割が非課税である世帯 ○支給額 1世帯当たり 30,000円 18歳以下の児童がいる世帯は、児童1人につき20,000円加算 〈実績〉 ○支給額等 23,790,000円 735世帯/777世帯 = 94.6% (返送等率 = 94.9%) うち子ども加算 49世帯 児童87人 ○事務費 2,094,907円 ・電子計算機関係委託料 ・職員手当等 ・確認書等郵送料 ・事務用品代 等	福祉課

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)2 老人福祉費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
7 高齢者福祉サービス事業費 (歳入歳出決算書 P.71)	10,325 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 10,650 補正予算額等 △ 325 合計 10,325〕	9,231,718 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 〔介護予防安心住まい推進事業費補助金 他〕	要援護高齢者及びひとり暮らし高齢者並びにその家族に対し、生活支援サービスを提供することにより、自立と生活の質の確保を図るとともに、高齢者福祉の向上を図った。 〈実績〉 ○緊急通報装置設置事業 〈新規設置数 4名 総設置数 52名〉 106,687円 ○移送サービス事業 〈196回〉 780,000円 ○食の自立支援事業(長楽会) 〈10,950食〉 4,927,500円 ○食の自立支援事業(シルバー配送) 〈10,950食〉 3,348,231円 ○心配ごと相談事業 〈6回 延べ9名〉 50,000円 ○介護タクシー利用助成事業 〈2回 延べ2名〉 19,300円	福祉課

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)2 老人福祉費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
12 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業費 (歳入歳出決算書 P.71)	2,587 (参考：予算現額内訳) 〔 当初予算額 2,587 補正予算額等 - 合計 2,587 〕	2,410,330 (補助単独の別) 国・府・ その他 (補助制度名) 〔 後期高齢者医療広域連合受託事業収入 〕	住民の健康寿命を延伸し、住み慣れた地域で生きがいを持ち安心して暮らし続けるため、関係課連携のもと、専門職による高齢者の地域の通いの場へ訪問のほか、健康状態不明者等への個別支援により、高齢者の健康づくりを推進した。 〈内容〉 (1) 個別支援(ハイリスクアプローチ) 後期高齢者医療の情報から対象者の抽出を行い、電話や訪問で面談等を実施。必要な場合は保健指導や関係機関との連携を行い、適切な医療・支援につなぐ。 ①健康状態不明者等への面談 9人/22人 ②低栄養者への電話による保健・栄養指導 16人/29人 (2) 通いの場への積極的関与等(ポピュレーションアプローチ) 町内14か所の通いの場に医療専門職が関与し、健康教育・健康相談のほか、気軽に相談できる環境づくりを行った。 ①通いの場への訪問 約30回訪問 ②集団健康教育・相談、啓発(「輝齢者しゃんしゃん教室」) 6回実施、延べ35人参加 ③健康測定イベントの開催及びフレイル状態ハイリスク者の把握・フォロー ○イベント 1回開催、86人参加 ○ハイリスク者のフォロー 6人/11人	健康対策課

(款)3 民生費 (項)2 児童福祉費 (目)1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 子ども・子育て支援事業計画策定事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	3,823 (参考：予算現額内訳) 〔 当初予算額 3,823 補正予算額等 - 合計 3,823 〕	3,732,010 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 〔 きょうと地域連携 交付金 〕	「第2期宇治田原町子ども・子育て支援事業計画(令和2年度～令和6年度)」の計画期間が令和6年度で満了することから、令和6年度においては、子ども・子育て会議を通して、PDCAサイクルに基づく各事業の進捗状況について、点検・評価を行うとともに、第3期計画(令和7年度～令和11年度)を策定した。 〈内容〉 ○子ども・子育て会議(委員10名) 第1回会議(令和6年7月5日) ・令和5年度子育て支援関連事業の実施状況及び事業評価等について ・第3期計画ニーズ調査報告書及び主なポイントまとめについて ・第3期計画骨子案について 第2回会議(令和6年10月11日) ・令和5年度子ども・子育て支援施策評価シートについて ・第2期計画の評価まとめ ・教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の「量の見込」と「確保方策」について ・第3期計画策定に向けた関係団体調査結果 第3回会議(令和6年11月22日) ・第3期計画素案について ・パブリックコメントについて 第4回会議(令和7年2月18日) ・パブリックコメントの結果と回答案について ・計画案に関する提言の内容について ○パブリックコメントの実施 令和6年12月16日～令和7年1月20日 町内公共施設5か所に設置し、併せて町HPにおいても公開 意見等提出者2名、件数4件	子育て支援課

(款)3 民生費 (項)2 児童福祉費 (目)1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																		
6 児童手当支給事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	134,842 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 121,564 補正予算額等 13,278 合計 134,842〕	134,680,805 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 児童手当交付金〕	次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するため、児童手当等を支給した。 令和6年10月分(初回支給は令和6年12月)からは、児童手当法の改正による制度改正(拡充)を行った。 〈内容〉 ○制度内容 <table><tr><th></th><th>改正前(令和6年9月分まで)</th><th>改正後(令和6年10月分から)</th></tr><tr><td>支給対象</td><td>中学生まで</td><td>高校生年代まで</td></tr><tr><td>所得制限</td><td>所得制限限度額、所得上限限度額あり</td><td>所得制限なし</td></tr><tr><td>手当月額</td><td>・3歳未満：月15,000円 ・3歳～小学校修了まで 第一子・第二子：月10,000円 第三子以降：月15,000円 ・中学生：月10,000円 ※児童を養育している方の所得が所得「制限」限度額以上、所得「上限」限度額未満の場合には、特例給付として月5,000円を支給。</td><td>・3歳未満 第一子・第二子：月15,000円 第三子以降：月30,000円 ・3歳～18歳到達後の最初の年度末まで 第一子・第二子：月10,000円 第三子以降：月30,000円 ※特例給付はなくなり、受給者全員が上記の支給額に。</td></tr><tr><td>第三子以降の算定対象</td><td>18歳到達後の最初の年度末まで</td><td>22歳到達後の最初の年度末まで</td></tr><tr><td>支給月</td><td>2月、6月、10月(年3回) ※各前月までの4か月分を支給</td><td>偶数月(年6回) ※各前月までの2か月分を支給</td></tr></table> 〈実績〉 ○支給額等 ・令和6年2月分～9月分(旧制度) 児童手当 0歳～中学校修了前 75,255,000円 特例給付 0歳～中学校修了前 700,000円 ・令和6年10月分～令和7年1月分(新制度) 児童手当 0歳～中学校修了前 48,695,000円 児童手当 高校生年代 8,850,000円 ・システム改修委託料 1,021,900円 ・郵送料等 158,905円		改正前(令和6年9月分まで)	改正後(令和6年10月分から)	支給対象	中学生まで	高校生年代まで	所得制限	所得制限限度額、所得上限限度額あり	所得制限なし	手当月額	・3歳未満：月15,000円 ・3歳～小学校修了まで 第一子・第二子：月10,000円 第三子以降：月15,000円 ・中学生：月10,000円 ※児童を養育している方の所得が所得「制限」限度額以上、所得「上限」限度額未満の場合には、特例給付として月5,000円を支給。	・3歳未満 第一子・第二子：月15,000円 第三子以降：月30,000円 ・3歳～18歳到達後の最初の年度末まで 第一子・第二子：月10,000円 第三子以降：月30,000円 ※特例給付はなくなり、受給者全員が上記の支給額に。	第三子以降の算定対象	18歳到達後の最初の年度末まで	22歳到達後の最初の年度末まで	支給月	2月、6月、10月(年3回) ※各前月までの4か月分を支給	偶数月(年6回) ※各前月までの2か月分を支給	子育て支援課
	改正前(令和6年9月分まで)	改正後(令和6年10月分から)																				
支給対象	中学生まで	高校生年代まで																				
所得制限	所得制限限度額、所得上限限度額あり	所得制限なし																				
手当月額	・3歳未満：月15,000円 ・3歳～小学校修了まで 第一子・第二子：月10,000円 第三子以降：月15,000円 ・中学生：月10,000円 ※児童を養育している方の所得が所得「制限」限度額以上、所得「上限」限度額未満の場合には、特例給付として月5,000円を支給。	・3歳未満 第一子・第二子：月15,000円 第三子以降：月30,000円 ・3歳～18歳到達後の最初の年度末まで 第一子・第二子：月10,000円 第三子以降：月30,000円 ※特例給付はなくなり、受給者全員が上記の支給額に。																				
第三子以降の算定対象	18歳到達後の最初の年度末まで	22歳到達後の最初の年度末まで																				
支給月	2月、6月、10月(年3回) ※各前月までの4か月分を支給	偶数月(年6回) ※各前月までの2か月分を支給																				

(款)3 民生費 (項)2 児童福祉費 (目)1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
13 うじたわらっ子家計応援事業費（繰越） (歳入歳出決算書 P.73)	4,000 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 4,000 補正予算額等 － 合計 4,000	3,702,724 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 物価高騰対応重点 支援地方創生臨時 交付金	エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた、未就学 児保護者の家計負担の軽減を図るため、未就学児童の保護者に対 し、町内共通商品券を配布した。 〈内容〉 ○対象者 町内に住民票のある対象児童を養育している保護者 ○対象児童 平成29年4月2日～令和6年4月1日までに生まれた子ども 対象児童：353人 ○配布物 児童1人あたり1万円(500円×20枚綴)の町内共通商品券 ○配布方法 簡易書留による郵送 ○費用 ・商品券 3,530,000円 ・郵送料 172,724円	子育て 支援課

(款)3 民生費 (項)2 児童福祉費 (目)2 児童福祉施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 保育所心を育む茶レンジャー育成事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	200 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 200 補正予算額等 - 合計 200〕	171,402 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 〔京都府ふるさと応援交付金〕	幼児期の発達において特定の大人が愛情豊かに応答的に関わることにより愛着関係を構築し、気持ちを自分自身でコントロールする力の基盤を形成した。 子どもたちが自信を持って様々なことに意欲的に取り組む心を育てるため、保育士の更なる保育力の向上を図るとともに、子どもたちが意欲的に取り組める保育環境を整えた。 〈内容〉 ○育児担当制保育研修(オンライン講座年3回) 安心感のある環境をつくり、子どもにとって居心地の良い保育を行うため、オンラインによる講座を受ける機会を設け、会計年度任用職員を含む全職員のスキルアップと保育の充実を図った。 ○保育環境研修(年1回) 子どもの主体性を育み、発達を促す保育環境づくりについて研修を受け、子どもがのびのび自由な発想で遊び込める保育や環境づくりを行うため、保育士のスキルアップを図った。 〈成果〉 研修を受け保育士が保育の振り返りを行い、育児担当制保育を実践することで子どもとの愛着関係が構築され、年度当初の子どもたちの安定にもつながっている。また、保育室の環境を整えることで、意欲的に集中して遊び込める姿も見られた。	子育て支援課

(款)3 民生費 (項)2 児童福祉費 (目)2 児童福祉施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																																				
5 保育所体づくりデ茶レンジャー育成事業費 (歳入歳出決算書 P.75)	809 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 809 補正予算額等 - 合計 809〕	764,560 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) 〔きょうと地域連携 交付金〕	このまちだからこそできる飛びぬけた保育の推進を目的として、町立保育所に通所する児童を対象に、サーキット運動をはじめとした運動遊びを日常的に取り入れるとともに、体育指導の専門家による体育教室や町内サッカー指導者によるサッカー教室を実施した。 〈内容〉 ○サッカー教室 対象：4,5歳児 <table><tr><td>年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>回数</td><td>4</td><td>4</td><td>9</td><td>9</td><td>10</td></tr></table> ○体育教室 対象：5歳児 <table><tr><td>年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>回数</td><td>14</td><td>6</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td></tr></table> ○サーキット運動(サーキット遊具：令和2年10月購入) 逆上がり 対象：2～5歳児(記録は3～5歳児) <table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">児童数</th><th colspan="2">年度当初</th><th colspan="2">年度末</th></tr><tr><th>成功者数</th><th>成功率</th><th>成功者数</th><th>成功率</th></tr><tr><td>3歳児</td><td>28人</td><td>0人</td><td>0.0%</td><td>0人</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>4歳児</td><td>42人</td><td>1人</td><td>2.4%</td><td>6人</td><td>14.3%</td></tr><tr><td>5歳児</td><td>46人</td><td>10人</td><td>21.7%</td><td>23人</td><td>50.0%</td></tr></table> 〈成果〉 毎日15分程度のサーキット遊びを活動の中に取り入れることで、身体の使い方が上手くなり、逆上がりや雲梯のできる児童が増加した。また専門家による実践指導を受け児童の意欲を高める関わり等の指導スキルアップを図った。	年度	R2	R3	R4	R5	R6	回数	4	4	9	9	10	年度	R2	R3	R4	R5	R6	回数	14	6	14	14	14		児童数	年度当初		年度末		成功者数	成功率	成功者数	成功率	3歳児	28人	0人	0.0%	0人	0.0%	4歳児	42人	1人	2.4%	6人	14.3%	5歳児	46人	10人	21.7%	23人	50.0%	子育て支援課
年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																			
回数	4	4	9	9	10																																																			
年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																			
回数	14	6	14	14	14																																																			
	児童数	年度当初		年度末																																																				
		成功者数	成功率	成功者数	成功率																																																			
3歳児	28人	0人	0.0%	0人	0.0%																																																			
4歳児	42人	1人	2.4%	6人	14.3%																																																			
5歳児	46人	10人	21.7%	23人	50.0%																																																			

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 健康増進事業費 (歳入歳出決算書 P.75)	1,607 (参考：予算現額内訳) 〔 当初予算額 1,607 補正予算額等 - 合計 1,607 〕	1,433,210 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) 〔健康増進法による 保健事業費補助金 きょうと地域連携 交付金 〕	令和6年度をアフターコロナにおける健康づくり事業のスタートの年と位置づけ、住民の更なる健康増進を図るための各種事業展開を行った。 〈内容〉 (1) うじたわら健活フェスタ 290,851円 各種健康づくり事業への契機として、新たに全年齢層を対象とした住民参加型の健康イベントを開催[約90名参加] ○開催日・会場 令和6年6月16日(日) 住民体育館及びその周辺 ○主な実施内容 世代別にテーマを分けた体験・計測ブース、医療専門職による講座・相談、健康をテーマにしたステージショーなど (2) 保健事業 1,142,359円 ○健康づくり事業の広報・啓発 ○健康教育・健康相談 ○健康診査(生活習慣病予防健康診査ほか) (3) その他一体的に取り組んだ別事業 ○うじたわらwalk・筋・ing事業費 ・ノルディックウォーキング講座[4回開催・延べ25人参加] ・筋活教室[5回開催・延べ67人参加] ○コツコツ骨を強くしましょう事業費 ○各種がん検診事業費 ○健康増進計画改定事業費 健康増進と食育推進に係る住民ニーズ調査及び施策の進捗管理を実施。 ・健康づくり推進協議会[2回開催] ・住民アンケート[成人向け：1,000名抽出調査、3・8・13歳児：全数調査]	健康対策課

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
10 新生児聴覚検査費用助成事業費 (歳入歳出決算書 P.75)	188 (参考：予算現額内訳) 〔 当初予算額 188 補正予算額等 - 合計 188 〕	120,060 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名) 〔 〕	新生児の聴覚障害を早期に発見し、早期療育につなぐことにより、音声言語発達遅滞等への影響を最小限に抑えることを目的に、新生児の聴覚検査に要する費用の一部を助成した。 〈内容〉 ○対象者 宇治田原町に住所を有する新生児の保護者 ○対象検査及び助成額 (以下①～③のいずれかの方法によるもの) ①聴性脳幹反応(ABR)検査 4,020円 ②自動聴性脳幹反応(AABR)検査 4,020円 ③耳音響放射(OAE)検査 1,500円 ・委託医療機関で検査を実施した場合 医療機関に委託料を支払う ・委託医療機関以外で検査を実施した場合 保護者に助成を行う(償還払い) ○事業期間 通年 〈実績〉 ○申請者 33名 ○助成額 120,060円	子育て支援課

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
11 出産・子育て応援事業費 (歳入歳出決算書 P.75)	5,092 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 5,285 補正予算額等 △ 193 合計 5,092〕	2,654,566 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 出産・子育て応援 交付金〕	妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の充実を図るとともに、出産育児関連用品の購入等に係る経済的支援を行った。 〈内容〉 ○伴走型相談支援（面談） ・対象者 妊婦及び産婦 ・実施方法 アンケートの回答や子育てガイドを一緒に確認し、出産育児等の見通しを立てる。 ・実施人数 ①妊娠届出時 38人 ②妊娠8か月前後 6人(希望者のみ実施) ③新生児訪問時 39人 (概ね生後1か月) ○出産・子育て応援ギフト 子育て関連の商品やサービス等を選択する電子カタログ(各上限5万円相当の電子クーポン)を支給した。 ・出産応援ギフト 779,000円(18人) ・子育て応援ギフト 1,182,000円(27人) ○その他 ・報酬 9,706円 ・消耗品費 207,560円 ・役務費 3,300円 ・システム改修費 473,000円	子育て支援課

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)2 予防費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																								
1 各種予防接種等対策事業費 (歳入歳出決算書 P.77)	53,299 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 26,902 補正予算額等 26,397 合計 53,299	40,926,642 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 感染症予防事業費 等国庫負担金 新型コロナ定期接種ワクチン確保事業助成金	疾病の発生及びまん延を予防するために、医師会等と連携を図りつつ、医療機関での個別予防接種を行う体制を整備し、公衆衛生の向上に寄与した。 〈内容〉 様々な感染症等を予防するため、主に成人に対して必要とされる予防接種(法に基づく定期接種)を実施。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th><th>対象者・年齢等</th><th>位置づけ</th><th>(参考)自己負担金</th><th>接種者数実績</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 高齢者 インフルエンザ</td><td>65歳以上</td><td>B類</td><td>1,500円(※)</td><td>1,270人</td></tr> <tr> <td>2 高齢者 コロナウイルス</td><td>60歳～64歳で一定の障がい を有する方</td><td>B類</td><td>2,000円(※)</td><td>462人</td></tr> <tr> <td>3 子宮頸がん (HPV)</td><td>小学6年～高校1年 H20.4.2～H25.4.1生 キャッチアップ世代</td><td>A類</td><td>無料</td><td>25人 (36回)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>H9.4.2～H20.4.1生</td><td></td><td></td><td>102人 (255回)</td></tr> <tr> <td>5 高齢者 肺炎球菌</td><td>定期接種 65歳</td><td>B類</td><td>2,500円(※)</td><td>26人</td></tr> <tr> <td>6</td><td>経過措置(R6のみ) 66歳～70歳</td><td>任意</td><td>接種費用の 1/2(※)</td><td>43人</td></tr> <tr> <td>7 風しん5期 (成人)</td><td>成人男性のうち S37.4.2～S54.4.1生</td><td>A類</td><td>無料</td><td>13人</td></tr> </tbody> </table> (※)生活保護・非課税世帯の接種者は無料 (予防接種法の位置づけ) ○ A類疾病:重症化・集団予防が重点、接種の努力義務あり ○ B類疾病:個人予防が重点、接種の努力義務なし	種別	対象者・年齢等	位置づけ	(参考)自己負担金	接種者数実績	1 高齢者 インフルエンザ	65歳以上	B類	1,500円(※)	1,270人	2 高齢者 コロナウイルス	60歳～64歳で一定の障がい を有する方	B類	2,000円(※)	462人	3 子宮頸がん (HPV)	小学6年～高校1年 H20.4.2～H25.4.1生 キャッチアップ世代	A類	無料	25人 (36回)	4	H9.4.2～H20.4.1生			102人 (255回)	5 高齢者 肺炎球菌	定期接種 65歳	B類	2,500円(※)	26人	6	経過措置(R6のみ) 66歳～70歳	任意	接種費用の 1/2(※)	43人	7 風しん5期 (成人)	成人男性のうち S37.4.2～S54.4.1生	A類	無料	13人	健康対策課
種別	対象者・年齢等	位置づけ	(参考)自己負担金	接種者数実績																																								
1 高齢者 インフルエンザ	65歳以上	B類	1,500円(※)	1,270人																																								
2 高齢者 コロナウイルス	60歳～64歳で一定の障がい を有する方	B類	2,000円(※)	462人																																								
3 子宮頸がん (HPV)	小学6年～高校1年 H20.4.2～H25.4.1生 キャッチアップ世代	A類	無料	25人 (36回)																																								
4	H9.4.2～H20.4.1生			102人 (255回)																																								
5 高齢者 肺炎球菌	定期接種 65歳	B類	2,500円(※)	26人																																								
6	経過措置(R6のみ) 66歳～70歳	任意	接種費用の 1/2(※)	43人																																								
7 風しん5期 (成人)	成人男性のうち S37.4.2～S54.4.1生	A類	無料	13人																																								

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)2 予防費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (繰越) (歳入歳出決算書 P.77)	608 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 608 補正予算額等 - 合計 608	29,270 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 新型コロナウイルスワクチン接種対策費補助金	全額公費負担による特例臨時接種期間の新型コロナウイルスワクチン接種のうち、令和5年秋開始接種等に係る費用の一部を支出した。 〈内容〉 ○医療系廃棄物処分費用 ○管外個別接種負担金 等	健康対策課

(款)6 農林水産業費 (項)1 農業費 (目)3 農業振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 農業振興地域整備計画 改定事業費 (歳入歳出決算書 P.83)	2,298 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 2,298 補正予算額等 - 合計 2,298〕	2,146,200 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	「農業振興地域整備計画」については、都道府県が定める農業振興地域整備基本方針の変更、経済事情の変更その他情勢の推移等により必要が生じたときは遅滞なく変更することとされており、新名神高速道路、都市計画道路宇治田原山手線等の整備が進み、本町を取り巻く状況が急速に変化していることを踏まえ、令和5年度・6年度の2か年で本町計画の改定を行った。 〈内容〉 ○改訂版「宇治田原農業振興整備計画書」の作成 ○農用地区域の除外編入等を反映した図面作成 ○農業振興地域整備促進協議会 第1回（令和6年12月26日開催） ・基礎調査の結果報告に加え、計画改定素案（主に農用地区域の除外）を説明 - 第2回 ・京都府との事前協議の結果、大幅な修正がなかったため、開催を省略	産業観光課

(款)6 農林水産業費 (項)1 農業費 (目)5 農地費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 ため池管理事業費 (歳入歳出決算書 P.83)	5,104 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 5,335 補正予算額等 △ 231 合計 5,104〕	5,104,000 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 農村地域防災減災 事業補助金〕	「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」により指定された防災重点農業用ため池について、ハザードマップを作成した。 〈内容〉 ○ため池ハザードマップ作成 5,104,000円 4池(長井野下池、本ノ谷池、法泉寺上池、法泉寺下池)	産業観光課

(款)6 農林水産業費 (項)2 林業費 (目)2 林業振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 林道整備等事業費 (歳入歳出決算書 P.85)	19,346 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 21,346 補正予算額等 △ 2,000 合計 19,346〕	15,646,700 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 〔地方創生道整備交付金 林道改良事業補助金〕	林道の安全性・走行性や防災機能の向上を図るため、林道の改良や維持管理を実施した。 〈内容〉 ○地方創生道整備推進交付金事業(林道分) ・測量設計業務委託(大峰線)1,859,000円 - 設計概要：法面改良、路肩改良 ・道路改良工事(大峰線)9,017,800円 - 工事概要：法面改良、路肩改良 ○その他の林道維持管理 ・側溝清掃委託料等936,900円 ・林道維持修繕事業補助金500,000円(1件) ○災害に強い森づくり事業 ・測量設計業務委託(地福谷線)3,333,000円 - 設計概要：浚渫、流木整理工、流木捕捉工	産業観光課
4 森林経営管理事業費 (歳入歳出決算書 P.85)	14,271 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 14,826 補正予算額等 △ 555 合計 14,271〕	14,270,300 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 〔 〕	平成31年4月施行の森林経営管理法に基づき、新たに森林所有者・林業者・町による森林の経営管理を確保するため、森林所有者への意向調査、現地調査、経営管理権集積計画の作成及び森林整備を行った。 〈内容〉 ○意向調査対象者 32名 ○経営管理権集積計画作成件数 3件 ○森林整備(間伐) 10.03ha	産業観光課

(款)6 農林水産業費 (項)2 林業費 (目)3 有害獣駆除費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																								
1 有害鳥獣対策事業費 (歳入歳出決算書 P.87)	5,235 (参考：予算現額内訳) 〔 当初予算額 4,985 補正予算額等 250 合計 5,235 〕	5,021,952 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) 〔 野生鳥獣被害総合 対策事業補助金 〕	有害鳥獣による農林作物等の被害が増加する中、被害の軽減及び防除対策が必要なことから、有害鳥獣駆除及び被害防止の各種対策に取り組み、被害の縮小に努めた。 〈内容〉 ○有害獣駆除事業 2,377,189円 野生鳥獣による農林作物被害に対し、綴喜郡猟友会宇治田原支部等に捕獲委託を行い、有害獣の駆除を行った。 (駆除の実績) (単位：頭) <table><tr><th>年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>サル</td><td>2</td><td>4</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>イノシシ</td><td>2</td><td>0</td><td>9</td><td>13</td><td>28</td></tr><tr><td>シカ</td><td>35</td><td>76</td><td>82</td><td>62</td><td>90</td></tr></table> ○宇治田原町有害鳥獣対策協議会補助金 2,200,000円 ○狩猟免許取得助成 3件 50,096円 ○その他追い払い道具等 394,667円	年度	R2	R3	R4	R5	R6	サル	2	4	0	1	0	イノシシ	2	0	9	13	28	シカ	35	76	82	62	90	産業観光課
年度	R2	R3	R4	R5	R6																							
サル	2	4	0	1	0																							
イノシシ	2	0	9	13	28																							
シカ	35	76	82	62	90																							

(款)7 商工費 (項)1 商工費 (目)2 商工振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
6 まちを元気にするプレミアム商品券発行事業費補助金(繰越) (歳入歳出決算書 P.89)	12,500 (参考:予算現額内訳) 〔当初予算額 12,500 補正予算額等 - 合計 12,500〕	12,500,000 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 物価高騰対応重点 支援地方創生臨時 交付金〕	宇治田原町内の消費生活活性化策として、特に地域小規模店舗での消費を喚起する事を主な目的として、プレミアム商品券の発行・販売に係るプレミアム分及び事務経費の補助を実施した。 〈内容〉 ○購入対象者の要件 宇治田原町住民 ○販売額 1セット10,000円(券面額13,000円) 対象者1人につき、3セットまで購入可 ○使用可能期間 令和6年8月4日(日)から令和7年1月31日(金)まで ○商品券販売期間 申込期限 令和6年7月10日(水) 商品券引換期間 令和6年8月4日(日)～8月9日(金) ○販売金額 30,000,000円 ○販売セット数 3,000セット	産業観光課

(款)7 商工費 (項)1 商工費 (目)3 観光費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 お茶の京都観光まちづくり推進事業費 (歳入歳出決算書 P.89)	4,677 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 4,602 補正予算額等 75 合計 4,677〕	4,173,134 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) デジタル田園都市 国家構想交付金 きょうと地域連携 交付金〕	観光振興計画に位置付けられた魅力創出に関する取組等の実施、観光情報発信の充実に向けた観光ポータルサイトの運営を行った。 〈内容〉 ○おうちで利き茶大会～茶香服への挑戦～ 応募者数：979名 当選者数：300名 ※ふるさとまつり実行委員会助成金 1,443,000円 ○歴史ウォーキング関連事業 23,291円 ・「家康伊賀越えの道」ウォーキング 令和6年7月5日 ・「青春神社と奥山田を巡る歴史ウォーク」 令和6年12月1日 ○観光ポータルサイト保守・運営委託料 360,000円 ○おもてなし推進補助金 100,000円(1件) ○お茶の京都DMO関係事業 ・宇治やんたんライナー&ライナーコネクトの運行 (土・休日のみ運行) 令和6年8月24日～11月10日 ※お茶の京都DMO分担金 1,400,000円 ○その他観光啓発PR事業等 846,843円 ・京都タワー、うぐいす宇治田原幼稚園連携事業 ・PR広告掲出事業(京阪「丹波橋駅」) ・パンフレット印刷等	産業観光課

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)1 道路橋梁総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 宇治田原山手線整備促進住民会議助成金 (歳入歳出決算書 P.91)	600 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 600 補正予算額等 - 合計 600〕	600,000 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	都市計画道路宇治田原山手線の早期完成を求める住民会議に活動助成金を交付するとともに、その活動を支援した。 〈内容〉 ○四役会(令和6年7月9日) ・役員会の日程及び議案等について ○役員会(令和6年7月30日) ・任期満了に伴う役員改選について ・令和5年度事業報告について ・令和5年度収入支出決算について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度収入支出予算について ○一斉啓発活動(令和6年10月17日：宇治田原中央公園ほか) ・町内各所に横断幕とのぼり旗を設置 ○京都府知事へ要望書を提出(令和6年11月28日：京都府庁) ・要望書を提出 ○「宇治田原山手線促進だより」発行(令和7年1月) 〈経過〉 平成26年2月10日設立。町内での一斉啓発活動、京都府知事への要望活動等を実施している。	まちづくり推進課

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 宇治田原山手線整備事業費 (歳入歳出決算書 P.93)	61,500 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 121,517 補正予算額等 △ 60,017 合計 61,500〕	27,877,756 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 地方創生道整備交付金〕	都市計画道路宇治田原山手線の整備促進を図った。 〈内容〉 ○宇治田原山手線(立川・岩山地内) L=2,100m ・京都府施行都市計画事業市町村負担金 14,583,000円 ○宇治田原山手線(緑苑坂・禅定寺地内) L=1,190m ・宇治田原山手線建設事業工事施工委託料 13,293,516円 ※新名神高速道路建設事業工事用道路として使用する道路として西日本高速道路㈱へ工事施工委託。 ○事務費等 1,240円 〈経過〉 ○宇治田原山手線(賛田・立川地内) 令和元年 道路用地鑑定評価業務 令和2年 公有財産購入 3名 令和2年～5年 京都府へ工事委託 令和5年6月18日 供用 ○宇治田原山手線(立川・岩山地内) 令和4年～ 京都府施行都市計画事業市町村負担金 ○宇治田原山手北線(緑苑坂・禅定寺地内) 平成26年 詳細設計事務 平成27年 物件調査事務、道路用地鑑定評価業務、公有財産購入(3名) 平成28年 用地測量等業務、道路用地鑑定評価業務、筆界特定業務、公有財産購入(3名) 平成29年 道路用地鑑定評価業務、公有財産購入(2名)、電気設備移転補償 平成30年 電気設備移転補償 平成29年～令和7年 西日本高速道路㈱への工事委託 令和5年 緑苑坂～町道禅定寺奥山田線間の供用	まちづくり 推進課

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 宇治田原山手線関連事業費(工業団地線) (歳入歳出決算書 P.93)	100,000 (参考: 予算現額内訳) 〔当初予算額 100,000 補正予算額等 - 合計 100,000〕	58,829,000 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 地方創生道整備交付金〕	宇治田原工業団地線は、宇治田原山手線と宇治田原工業団地を結ぶ町の都市計画道路であり、道路詳細設計及び用地調査に基づき道路用地買収等を実施し、宇治田原工業団地線の整備促進を図った。 〈内容〉 ○用地買収 1件 819,000円 ○物件補償 2件 58,010,000円 ※契約件数及び金額を記載	建設環境課

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 町道新設改良事業費 (歳入歳出決算書 P.93)	41,658 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 41,758 補正予算額等 △ 100 合計 41,658〕	26,392,462 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	住民生活の利便性、安全性、快適性を確保するため主要町道の計画的な整備及び住民生活に密着した生活道路の整備改良を行った。 〈工事〉 ○奥山田天神社線道路改良工事 7,058,700円 法面伐木・防護柵設置工他 ○排水路改良工事(1) 側溝工・舗装工他 7,287,500円 ○排水路改良工事(2) 側溝工・舗装工他 2,630,000円 ○道路・水路改修工事 7,662,600円 擁壁工・舗装工・排水工他 ○樹木伐採運搬工事 393,800円 〈業務委託〉 ○所有者不明土地対策業務 550,000円 ○用地測量調査等業務 528,000円 〈その他事務費〉 281,862円	建設環境課
4 道路施設長寿命化修繕事業費 (歳入歳出決算書 P.93)	25,098 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 25,098 補正予算額等 - 合計 25,098〕	24,363,105 (補助単独の別) 国 ・府・単独 (補助制度名) 〔道路事業費補助金〕	道路施設(橋梁・舗装)の経年劣化が進んでいることから、道路施設の長寿命化修繕計画に基づき、計画的な補強、修繕及び補修工事を行うことで、道路施設の安全を確保した。 【橋梁長寿命化修繕】 〈工事〉 ○谷山2号橋橋梁修繕工事 橋梁補修工 2,025,100円 【道路舗装修繕】 〈工事〉 ○郷之口岩山線舗装修繕工事 舗装工 9,893,400円 〈業務委託〉 ○宇治田原町管理橋梁定期点検業務 12,421,200円 〈その他事務費〉 23,405円	建設環境課

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
5 宇治田原山手線整備事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P.93)	7,931 (参考:予算現額内訳) 〔当初予算額 7,931 補正予算額等 - 合計 7,931〕	5,440,722 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 地方創生道整備交付金〕	都市計画道路宇治田原山手線の整備促進を図った。 〈内容〉 ○宇治田原山手線(緑苑坂・禅定寺地内) L=1,190m ・宇治田原山手線建設事業工事施工委託料 5,440,722円 ※新名神高速道路建設事業工事用道路として使用する道路として西日本高速道路(株)へ工事施工委託。 〈経過〉 ○宇治田原山手線(賛田・立川地内) 令和元年 道路用地鑑定評価業務 令和2年 公有財産購入 3名 令和2年～令和5年 京都府へ工事委託 令和5年6月18日 供用 ○宇治田原山手線(立川・岩山地内) 令和4年～ 京都府施行都市計画事業市町村負担金 ○宇治田原山手北線(緑苑坂・禅定寺地内) 平成26年 詳細設計事務 平成27年 物件調査事務、道路用地鑑定評価業務、公有財産購入(3名) 平成28年 用地測量等業務、道路用地鑑定評価業務、筆界特定設備業務、公有財産購入(3名) 平成29年 道路用地鑑定評価業務、公有財産購入(2名)、電気移転補償 平成30年 電気設備移転補償 平成29年～令和7年 西日本高速道路(株)への工事委託 令和5年 緑苑坂～町道禅定寺奥山田線間の供用	まちづくり 推進課

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
6 宇治田原山手線関連事業費(工業団地線) (繰越) (歳入歳出決算書 P.93)	103,623 (参考:予算現額内訳) 〔当初予算額 124,844 補正予算額等 △ 21,221 合計 103,623〕	72,995,860 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 地方創生道整備交付金〕	宇治田原工業団地線は、宇治田原山手線と宇治田原工業団地を結ぶ町の都市計画道路であり、道路詳細設計及び用地調査に基づく道路用地買収等を実施し、宇治田原工業団地線の整備促進を図った。 〈業務委託〉 ○宇治田原工業団地線道路詳細設計業務(その2) 14,044,800円 ・詳細設計 L=100m ・取付道路・大型用排水路設計 ・交差点設計 ・構造物設計(箱型函渠) ○宇治田原工業団地線道路詳細設計支援業務 352,000円 ○所有者不明土地対策業務 1,180,000円 〈用地買収〉 11件 57,405,674円 ※契約件数及び金額を記載 〈その他事務費〉 13,386円	建設環境課

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
7 町道新設改良事業費 (繰越) (歳入歳出決算書 P.93)	69,810 (参考:予算現額内訳) 〔当初予算額 48,589 補正予算額等 21,221 合計 69,810〕	69,809,100 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 地方創生道整備交付金〕	住民生活の利便性、安全性、快適性を確保するため主要町道の計画的な整備及び住民生活に密着した生活道路の整備改良を行った。 〈工事〉 ○2の2号線道路改良工事(その1) 25,005,000円 法面工・排水構造物工他 ○2の2号線道路改良工事(その2) 39,267,800円 排水構造物工・舗装工他 ○奥山田天神社線道路改良工事 1,100,000円 法面伐木・防護柵設置工他 ○排水路改良工事(その2) 4,436,300円 側溝工他	建設環境課

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)4 交通安全対策費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 自転車乗車用ヘルメット普及促進事業費 (歳入歳出決算書 P.93)	250 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 757 補正予算額等 △ 507 合計 250〕	120,647 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) きょうと地域連携交付金	自転車の交通安全対策として、ヘルメットの着用を促進し、交通安全意識の高揚と交通事故発生時の被害の軽減を図るため、自転車乗車用ヘルメットの購入費用の一部を補助した。 〈内容〉 ○補助実績 41件 補助金額 120,647円 ○対象者 町内在住の未就学児から中学生まで ○対象となるヘルメット ①次の安全基準を満たす新品の自転車乗車用ヘルメット SGマーク、JCFマーク、CEマーク、GSマーク、CPSCマーク ②令和6年4月1日以降に購入したもの ○補助金額 購入価格(上限3,000円) ※1人につき1個かつ1回限り ○対象期間 令和6年度から令和8年度(時限措置) ○周知方法 町広報紙・町HP・各学校でのチラシ配布等	総務課

(款)8 土木費 (項)5 都市計画費 (目)1 都市計画総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 木造住宅耐震改修等事業費 (歳入歳出決算書 P.95)	556 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 8,212 補正予算額等 △ 7,656 合計 556〕	556,000 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 防災・安全交付金 住宅耐震診断事業 費補助金 木造住宅耐震改修 等事業費補助金〕	今後発生が想定される地震に対する備えとして、建築基準法改正(昭和56年)以前の基準により建築されている木造建築物について、補助基本額と補助率を引上げ、建築物の耐震に関する検査及び耐震度を確保する改修に対して補助を実施した。 〈実績〉 ○耐震診断(耐震診断士の派遣) 3件 156,000円 ○耐震改修(簡易改修) 1件 400,000円 ○制度周知 ・町ホームページ、町広報紙への啓発記事掲載 ・地区防災訓練等における啓発チラシ配布 ・京都府及び近隣市町と連携し商業施設での啓発活動	建設環境課

(款)8 土木費 (項)5 都市計画費 (目)1 都市計画総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
6 空家等総合対策事業費 (歳入歳出決算書 P.95)	1,334 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 1,910 補正予算額等 △ 576 合計 1,334〕	1,193,246 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) デジタル田園都市 国家構想交付金〕	令和4年度に策定した「第2期空家等対策計画」に基づき、町内の空家等の適切な管理と利活用、移住定住促進するための総合的な取組を推進した。 〈内容〉 ○宇治田原町空家バンク運営 平成28年度に(公社)京都府宅地建物取引業協会と締結した協定に基づくマッチングを推進。(令和6年度2件掲載。延べ20件掲載・13件成約、31人が移住。) ○「うじたわらいく」お試し住宅 平成30年度に南区内の空家を活用・整備し開設した「うじたわらいく」お試し住宅を運営。(R6年度入居3世帯。延べ16世帯が入居、うち2世帯が移住。) ○管理不全空家等除却支援事業 平成30年度創設の管理不全空家等除却支援事業補助金により町内の危険な空家について、所有者による除却を促した。(R6度除却支援＝40万円/件×2件) 〈推進体制等〉 ○宇治田原町空家等対策協議会(計9名) 令和6年11月25日 空家等特措法に基づく協議会を継続設置・運営 ○京都司法書士会との連携 - 令和元年度に「空家対策に係る連携協定」を締結 空家所有者等への情報提供と個別相談支援の体制を確保 - ことぶき大学第5回講座 令和6年11月8日 〔テーマ〕実家をどうする 〔講師〕石田郁雄司法書士 〔会場〕総合文化センター研修室1	まちづくり 推進課

(款)9 消防費 (項)1 消防費 (目)1 常備消防費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 救助工作車整備事業費 (歳入歳出決算書 P.97)	28,692 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 30,476 補正予算額等 △ 1,784 合計 28,692〕	28,655,506 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名) 〔	常備消防力の充実強化を図るため、京田辺市消防本部が消防車両更新計画に基づき救助工作車の更新を行い、整備費用の一部を負担した。 〈内容〉 複雑多様化する災害から住民の安全を守るため、下記装備等を備えた救助工作車に更新した。 工作車購入額：219,560,000円 本町分担金額：28,655,506円 〈仕様〉 ○救助工作車 1台 (最大積載量5.5t級シャシ四輪駆動方式) ○車両装備品・付属品 ウインチ装置、発電照明装置、クレーン装置、3連梯子昇降装置 ○積載品 大型油圧切断機、大型油圧スプレッダー、油圧ジャッキ、電動油圧器具、可搬ウインチ、空気切断機、ガス溶断機、エンジンカッター、救助用支柱器具、空気式救助マット、化学防護服、放射線測定器、水中テレビカメラ、三連梯子、その他の機材	総務課

(款)9 消防費 (項)1 消防費 (目)1 常備消防費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 京都府南部消防指令センター共同運用整備事業費 (歳入歳出決算書 P.97)	9,161 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 9,223 補正予算額等 △ 62 合計 9,161〕	9,149,434 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 〔 〕	京都府南部地域の9消防本部が共同運用を行う、京都府南部消防指令センター共同運用整備事業に係る経費の一部を負担した。 〈内容〉 ○指令センター共同運用整備事業分担金 京田辺市消防本部分担金額 54,033,721円 本町分担金額 9,149,434円 ○指令センター共同運用整備事業 消防指令システム等整備 (指令システム、救急デジタル無線システム整備等) 消防指令センター及び京都市消防学校整備 (電気設備改修、内外装その他改修、空調衛生設備改修等) ○消防指令システムの主な機能 (1)AI技術を用いた災害地点の確定・出動指令の迅速化 ・119番通報「音声認識テキスト化機能」の導入 ・消防独自地図を活用した迅速な災害地点の特定や出動指令の発令 ・通報者、指令センター員、通報場所を管轄する消防本部の3者同時通話が可能 (2)消防指令センター・各消防本部の情報共有体制の強化 ・モバイル端末を活用した現場支援システムの導入 ・同一規格の消防救急デジタル無線の整備 (3)通話手段の多様化に対応 ・通報者のスマートフォンを利用した「映像通報システム」の導入により、現場状況に応じた迅速・的確な指令が可能 ○スケジュール ・令和6年度～8年度 新システム構築整備 ・令和9年度 第1期運用開始	総務課

(款)9 消防費 (項)1 消防費 (目)3 消防施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 消防施設整備費 (歳入歳出決算書 P.99)	3,419 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 5,508 補正予算額等 △ 2,089 合計 3,419〕	3,158,100 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	消防防災活動の機能維持・向上を図るため、岩山消防団の活動拠点となる消防器具庫横広場に新たにホースタワーを整備した。 〈内容〉 ○岩山ホースタワー設置工事 3,158,100円 消防用ホース吊下柱 1本設置 ・手動ウインチ式 ・消防用ホース 12本吊り仕様 ・地上高 12m (設置場所) 岩山会館横広場	総務課

(款)10 教育費 (項)1 教育総務費 (目)2 事務局費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 寺子屋「うじたわら学び塾」運営事業費 (歳入歳出決算書 P.99)	281 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 391 補正予算額等 △ 110 合計 281〕	235,182 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	小中学生を対象に教育環境の充実や郷土愛の醸成を図り、地域ぐるみ・町ぐるみによる学びの向上を推進するため、教職員退職者や有識者及び次代を担う大学生など幅広い年齢層のスタッフのもと、夏・冬休み等に寺子屋「うじたわら学び塾」を開講し、継続的に人がつながる学びの場を創出した。 〈内容〉 ○夏季事業 「英語」「漢字」「夏の学び」をテーマに6講座を実施 延べ参加者 162 人 ○冬季事業 「英語」「漢字」「冬の学び」「運動スキル」をテーマに7講座を実施 延べ参加者 135 人 ○運営協議会を4回開催	学校教育課

(款)10 教育費 (項)1 教育総務費 (目)3 育英費

事 業 の 名 称	予算現額(千円)	決 算 額 (円)	施 策 の 成 果	担 当 課																
1 高校生通学費補助金 (歳入歳出決算書 P.101)	18,413 (参考：予算現額内訳) 〔 当初予算額 18,413 補正予算額等 - 合計 18,413 〕	13,994,058 (補助単独の別) 国 ・ 府 ・ 単独 (補 助 制 度 名) 〔きょうと地域連携 交付金〕	高校等にバス通学する生徒の保護者の負担軽減を図るため、通学費の一部助成を行った。 〈内容〉 ○補助対象者数及び補助金額 <table><tr><td>年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>申請者実人数</td><td>183人</td><td>173人</td><td>170人</td></tr><tr><td>合計補助金額</td><td>15,459,500円</td><td>14,407,600円</td><td>13,978,900円</td></tr><tr><td>郵送料</td><td>36,000円</td><td>25,418円</td><td>15,158円</td></tr></table> ○補助率 ①学期定期券購入額相当分を補助 (定期券あり・保護者が住民税非課税) ②学期定期券購入額相当分の1/2を補助 (定期券あり・保護者が住民税課税) ③学期定期券購入額相当分の1/4を補助 (定期券なし)	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	申請者実人数	183人	173人	170人	合計補助金額	15,459,500円	14,407,600円	13,978,900円	郵送料	36,000円	25,418円	15,158円	学校教育課
年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																	
申請者実人数	183人	173人	170人																	
合計補助金額	15,459,500円	14,407,600円	13,978,900円																	
郵送料	36,000円	25,418円	15,158円																	

(款)10 教育費 (項)1 教育総務費 (目)3 育英費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 高校生等応援事業費 (繰越) (歳入歳出決算書 P.101)	4,830 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 4,830 補正予算額等 - 合計 4,830	4,764,458 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 物価高騰対応重点 支援地方創生臨時 交付金	エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、高校生世代の保護者に対し、自らの進路に向かって努力する高校生世代の学習、自己研鑽の支援を目的に、教材購入等の費用の一部について補助を行った。 〈内容〉 ○対象者 基準日に高校1年生～高校3年生の世代 ○受給権者 支給対象高校生等の保護者 ○支給額 1名につき2万円 ○基準日 令和6年4月1日 〈実績〉 ○支給額 4,620,000円 231件/233件＝99.1％ ○事務費 144,458円	学校教育課

(款)10 教育費 (項)2 小学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 AIドリルで学習の基本・意欲・定着推進事業費 (歳入歳出決算書 P.103)	697 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 697 補正予算額等 - 合計 697〕	673,900 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) 〔子どもの教育のための総合交付金〕	小学校の学習において、家庭学習を含め児童の自主的・積極的な学びを応援。児童1人1台タブレット環境を活用した個別学習の充実のためAIドリルを導入した。 〈内容〉 ○AIドリルの活用事例 ・授業の隙間時間や家庭学習で活用できる個別最適化された学習環境の提供により、基礎基本の定着から発展問題への挑戦まで、個々の習熟度に応じた学びが可能になった。 ・解答の正誤を自動判定し、誤答をピックアップして再挑戦を促す早いフィードバックによるつまずきの解消が、理解の定着につながった。 ・取り組んだ履歴をスタディ・ログとしてデータ化することで、学習履歴の見える化が実現し、教職員によるきめ細やかな個別指導に活用することができた。 ・取組の得点化などやる気を引き出す仕組みによって、学習意欲の促進と習慣化が図られ、自学自習の一助となった。 ○導入台数 うち田原小学校 393台 うち宇治田原小学校 188台 うち宇治田原小学校 205台	学校教育課

(款)10 教育費 (項)2 小学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 先端プログラミング教育推進事業費 (歳入歳出決算書 P.103)	596 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 596 補正予算額等 - 合計 596	595,496 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 子どもの教育のための総合交付金	学習指導要領の改正によりプログラミング教育が必修とされ、社会の様々なところでDX化が進展するなか、授業においてSTEAM教育(※)を提供することにより、Society5.0に対応できる人材の育成を行った。 〈内容〉 プログラミングソフト「Scratch」を使いロボットによる自動車の自動運転をプログラミングするなどにより、社会の諸課題についてプログラミングの必要性を知り、プログラミング的思考を養った。 ○対象者 田原小学校・宇治田原小学校6年生 ○実施方法 プログラミング教室運営会社に委託実施 ※「STEAM教育」 ”Science(科学), Technology(技術), Engineering(工学), Art(芸術), Mathematics(数学)”の5分野の学習を通じ、IT社会に順応した人材を育てていくための教育方針。	学校教育課

(款)10 教育費 (項)3 中学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 AIドリルで学習の基本・意欲・定着推進事業費 (歳入歳出決算書 P.105)	349 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 349 補正予算額等 - 合計 349〕	337,000 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) 〔子どもの教育のための総合交付金〕	中学校の学習において、家庭学習を含め生徒の自主的・積極的な学びを応援。生徒1人1台タブレット環境を活用した個別学習の充実のためAIドリルを導入した。 〈内容〉 ○AIドリルの活用事例 ・授業の隙間時間で活用できる個別最適化された学習環境の提供により、基礎基本の定着から発展問題への挑戦まで、個々の習熟度に応じた学びが可能になった。 ・解答の正誤を自動判定し、誤答をピックアップして再挑戦を促す早いフィードバックによるつまずきの解消が、理解の定着につながった。 ・取り組んだ履歴をスタディ・ログとしてデータ化することで、学習履歴の見える化が実現し、教職員によるきめ細やかな個別指導に活用することができた。 ・取組の得点化などやる気を引き出す仕組みによって、学習意欲の促進と習慣化が図られ、自学自習の一助となった。 ○導入台数 216台	学校教育課

(款)10 教育費 (項)3 中学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 先端プログラミング教育推進事業費 (歳入歳出決算書 P.105)	890 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 890 補正予算額等 - 合計 890	889,592 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) 子どもの教育のための総合交付金	学習指導要領の改正によりプログラミング教育が必修とされ、社会の様々なところでDX化が進展するなか、授業においてSTEAM教育(※)を提供することにより、Society5.0に対応できる人材の育成を行った。 〈内容〉 小学校での体験をベースにITの素養や理解、論理的思考能力を更に高めることを目的とし、1・2年生はタコラッチを使ったゲーム制作、3年生はJavaScriptを使った掲示板アプリの制作を行った。 ○対象者 維孝館中学校1年生～3年生 ○実施方法 プログラミング教室運営会社に委託実施 ※「STEAM教育」 ”Science(科学), Technology(技術), Engineering(工学), Art(芸術), Mathematics(数学)”の5分野の学習を通じ、IT社会に順応した人材を育てていくための教育方針。	学校教育課

(款)10 教育費 (項)3 中学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
5 ふるさと応援キャリア 教育事業費 (歳入歳出決算書 P.105)	224 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 530 補正予算額等 △ 306 合計 224〕	219,000 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) 〔子どもの教育のための総合交付金〕	町内の企業と連携し、ふるさと納税の返礼品を開発するなど、中学校生徒が授業を通して、ふるさとへの愛着や誇り、まちづくりに関わろうとする自負の醸成や自分のキャリア形成を主体的に設計し、実現させていく力を育成した。 〈内容〉 企業と連携し、ブレインストーミング等の協働的な学びを通じた商品開発授業を行った。 令和6年度は、「チェリー」及び「おおつじ茶菓店」の協力を得て、中学生が「食べに来たくなるスイーツ」をテーマに様々な提案を行い、「鷲峰山アラモード」や茶ッピーの焼印を入れた「パフェまんじゅう」などを開発した。	学校教育課

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)1 社会教育総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 生涯学習推進事業費 (歳入歳出決算書 P.107)	1,036 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 1,540 補正予算額等 △ 504 合計 1,036〕	933,097 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) 〔きょうと地域連携 交付金〕	少子高齢化、情報化社会の中で、一人ひとりが生きがいのある人生を過ごすことや自己学習意欲の向上を目指して、「いつでも・どこでも・だれもが」学習機会を選択して学ぶことができる生涯学習のまちづくりを推進した。 〈内容〉 ○生涯学習講座「グリーンライフカレッジ」及びことぶき大学総合文化センター研修室1でのことぶき大学第1回講座を兼ねた開講式の開催をスタートに、各種講座等を実施した。 ・ことぶき大学29,000円 一部を除き60歳以下も参加可能とし、幅広い年齢層が参加できる成人・高齢者学習として開催。環境、歴史等教養を深める現代的テーマとした。 ・各種講座指導者報償32,000円 (クリスマスライトづくり、クリスマスリースづくり) ○学社連携推進事業等補助金250,236円 田原・宇治田原小学校区の学社連携推進団体及び地域子ども会に対して助成金を交付し、地域での学校外活動を支援した。 ○その他事務費 621,861円	社会教育課

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)3 総合文化センター費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 総合文化センター改修事業費 (歳入歳出決算書 P.109)	49,991 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 49,991 補正予算額等 - 合計 49,991〕	49,370,200 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名) 〔	総合文化センターの設備や機器類が大規模な改修を計画的に行うことが必要な状況となっていることから、改修工事等を行った。 〈内容〉 ○さざんかホール音響映像設備改修工事 41,800,000円 ○郷土資料室改修工事 1,048,300円 ○受水槽流入管改修工事 636,900円 ○楽屋空調設備改修工事 407,000円 ○非常用発電機蓄電池交換工事 396,000円 ○誘導灯・非常用照明改修工事 231,000円 ○さざんかホール舞台設備等改修設計業務 3,839,000円 ○さざんかホール音響映像設備改修工事監理業務 1,012,000円	社会教育課

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)4 図書館費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 図書館de多文化コミュニケーション事業費 (歳入歳出決算書 P.109)	300 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 300 補正予算額等 - 合計 300〕	299,101 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) 〔きょうと地域連携 交付金〕	国籍や民族に関わらず、国際交流の場としてボードゲームを活用したイベントを開催するとともに、相互理解を深めることを目的に外国語図書の整備を行った。 〈内容〉 ○多文化交流事業 年齢も言葉も関係なく楽しめるボードゲームを活用したイベントを開催。 ・日時：令和6年9月15日(日) 午後1時30分～3時30分 ・参加者：25人 (内訳)ベトナム人 大人7人 ミャンマー人 大人3人 中国人 大人2人、子ども1人 日本人 大人6人、子ども6人 ○外国語図書整備 子どもから大人まで幅広い年齢層が親しめる外国語図書(絵本・児童書・一般書等)及び相互理解に役立つ図書を整備。多文化理解の向上とともに外国人住民の図書館利用の促進を図ることができた。 ・ベトナム語の図書25冊、中国語の図書23冊、英語の図書9冊、その他多文化の図書48冊 計105冊を購入。	社会教育課

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)5 放課後児童健全育成事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 宇治田原児童育成施設整備事業費 (歳入歳出決算書 P.111)	51,146 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 38,097 補正予算額等 13,049 合計 51,146	50,351,287 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 子ども・子育て支援整備交付金	宇治田原児童育成施設では受け入れ上限に迫る利用状況が続いていること等から、利用児童の安全な保育環境を確保することを目的に、まるやま交流館敷地内に新たに児童育成施設を整備した。 〈内容〉 ○児童育成施設新築工事 45,718,200円 ・場所：宇治田原町大字岩山小字丸山37番地 ・延べ床面積：101.08㎡ ・構造等：木造平屋建て ○児童育成施設新築工事監理業務 2,948,000円 ○児童育成施設機械警備機器設置工事 212,850円 ○備品・消耗品費等 1,472,237円	社会教育課

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)5 放課後児童健全育成事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 放課後児童健全育成事業費 (歳入歳出決算書 P.111)	31,118 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 30,595 補正予算額等 523 合計 31,118〕	30,747,666 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 子ども・子育て支援交付金〕	勤務等により家庭での保育を受けることができない児童に対し、遊びや生活の場を提供することにより、その健全な育成を図った。 〈内容〉 ○施設 田原児童育成施設及び宇治田原児童育成施設(まるやま交流館) ○開所時間 平日 下校時間～18:30 土曜・長期休業期間 7:30～18:30 ※土曜日合同開設 4月～9月 宇治田原児童育成施設 10月～3月 田原児童育成施設 〈実績〉 ○田原元気っ子クラブ 平均登録人数 53人 1日平均 29.4人(※1)(延べ人数 8,601人) 開設日数 264日 ○宇治田原元気っ子クラブ 平均登録人数 68人 1日平均 39.0人(※1)(延べ人数 11,441人) 開設日数 268日(お盆合同開設含む) (※1)両学童の開所日数(293日)で延べ人数を割って算出 〈参考〉R5年度利用実績 ○田原元気っ子クラブ 平均登録人数 56人 1日平均 30.0人(延べ人数 8,749人) 開設日数 266日 ○宇治田原元気っ子クラブ 平均登録人数 64人 1日平均 37.7人(延べ人数 10,962人) 開設日数 266日※両学童の開所日数(291日)	社会教育課

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)5 放課後児童健全育成事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 放課後児童健全育成事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P.111)	2,112 (参考: 予算現額内訳) 〔当初予算額 2,112 補正予算額等 - 合計 2,112〕	2,112,000 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	宇治田原児童育成施設では受け入れ上限に迫る利用状況が続いていること等から、利用児童の安全な保育環境を確保することを目的に、新たに整備する児童育成施設のための設計業務を実施した。 〈内容〉 ○児童育成施設新築設計業務 2,112,000円	社会教育課

〈 国民健康保険特別会計 〉

【国民健康保険特別会計】

(款)4 保健事業費 (項)1 特定健康診査等事業費 (目)1 特定健康診査等事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 特定健康診査等実施事業費 (歳入歳出決算書 P.151)	11,236 (参考：予算現額内訳) 〔 当初予算額 11,236 補正予算額等 - 合計 11,236 〕	9,175,388 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) 〔特定健康診査等負担金〕	国保被保険者の健康維持・改善を図るため、メタボリックシンドローム(内臓脂肪型肥満)等の早期発見を目的とした特定健康診査を行い、メタボリックシンドローム及びその予備群とされた方に対して特定保健指導を実施した。 〈実績〉 令和6年度[速報値] ○対象被保険者数 1,310人 ○受診者数 666人(うち人間ドック受診者146人) ○受診率 50.8% ○実施期間 令和6年7月～9月(予備月11月) ※受診率の向上につなげるため、対象者への個別通知、積極的な広報のほか、健診期間中に受診行動別のセグメント分けを行い、それぞれに効果的な媒体での受診勧奨通知を追加送付した。 令和5年度[法定報告(確定)値] ○対象被保険者数 1,338人 ○受診者数 620人(うち人間ドック受診者103人) ○受診率 46.3% ○実施期間 令和5年7月～9月(予備月11月)	健康対策課

【国民健康保険特別会計】

(款)4 保健事業費 (項)1 特定健康診査等事業費 (目)1 特定健康診査等事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 生活習慣病予防対策事業費 (歳入歳出決算書 P.151)	277 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 277 補正予算額等 - 合計 277〕	140,085 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) 〔保険給付費等交付金(特別交付金)〕	国保特定健診及び人間ドックの結果により、メタボリックシンドローム(内臓脂肪型肥満)又はその予備群と判定された被保険者及び糖尿病り患の恐れがある方を対象に、町保健師による保健指導を実施した。 〈実績〉 令和6年度[速報値] ○特定保健指導(国基準) ・対象者 93人 うち積極的支援 15人、動機付け支援 78人 ・当該年度中の実施者 37人 うち積極的支援 7人、動機付け支援 30人 ・次年度での継続指導を含む実施率 39.8% ※リスク発症者への積極的な働きかけにより、実施率の向上を図った。 ○重症化予防保健指導(令和4年度より府基準) ・対象者 15人 ・実施者 7人 ・実施率 46.7% 〈参考〉 令和5年度[法定報告(確定)値] ○特定保健指導(国基準) ・対象者 92人 うち積極的支援 21人、動機付け支援 71人 ・当該年度中の実施者 34人 うち積極的支援 3人、動機付け支援 31人 ・次年度での継続指導を含む実施率 37.0%	健康対策課

〈 後期高齢者医療特別会計 〉

【後期高齢者医療特別会計】

(款)3 保健事業費 (項)1 健康保持増進事業費 (目)1 健康診査費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 後期高齢者健康診査費 (歳入歳出決算書 P.169)	6,923 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 6,923 補正予算額等 － 合計 6,923	5,725,316 (補助単独の別) 国・府・ その他 (補助制度名) 京都府後期高齢者 医療広域連合健康 診査費補助金	高齢者の健康保持・増進を図るため、後期高齢者医療被保険者を対象とした健康診査を実施した。 〈実績〉 令和6年度[速報値] ○対象被保険者数 1,321人 ○受診者数 550人 うち人間ドック受診者 67人 ○受診率 41.6%(人間ドックを含む) ○実施期間 令和6年7月～9月(予備月11月) ※受診率の向上と「高齢者の介護予防と保健事業の一体的実施事業」等につなげるため、対象者全員に受診票を送付するとともに、健診期間中に同事業のポピュレーションアプローチほかにて周知広報を実施した。 〈参考〉 令和5年度[確定値] ○対象被保険者数 1,498人 ○受診者数 532人 うち人間ドック受診者 41人 ○受診率 35.5%(人間ドックを含む) ○実施期間 令和5年7月～9月(予備月11月)	健康対策課

〈 水道事業会計 〉

【水道事業会計】

(款)1 資本的支出 (項)1 建設改良費 (目)4 拡張事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 配水管耐震化事業費 (水道事業会計決算書 P. 26)	32,500 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 32,500 補正予算額等 - 合計 32,500〕	7,356,800 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	地震に強い水道をめざして、老朽水道管路を耐震性のある管へと更新するため、詳細設計を行った。 〈内容〉 ○設計業務 ・配水管 HPPE φ150mm L=250.0m ・水管橋 橋梁添架形式 L=7.3m	上下水道課
2 湯屋谷配水管更新事業費(繰越) (水道事業会計決算書 P. 26)	27,279 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 27,000 補正予算額等 279 合計 27,279〕	27,278,900 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	湯屋谷地区への安定的な水道水の供給を行うため、老朽化した配水管を更新した。 〈内容〉 ○設計業務 ・配水管 HPPE φ150mm L=105.0m ○工事 ・配水管 HPPE φ150mm L=100.9m HPPE φ100mm L=30.9m ・水管橋 橋梁添架形式 L=10.2m 〈事業費推移〉 令和2年度 19,447,490円(うち令和元年繰越 2,860,000円) 令和3年度 4,070,000円 令和4年度 26,821,300円(うち令和3年繰越 16,210,700円) 令和5年度 5,280,000円(うち令和4年繰越 5,280,000円)	上下水道課

〈 下水道事業会計 〉

【下水道事業会計】

(款)1 資本的支出 (項)1 建設改良費 (目)2 管渠等建設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 公共下水道(管渠)整備事業費 (下水道事業会決算書 P.24)	118,541 (参考:予算現額内訳) 〔当初予算額 118,541 補正予算額等 - 合計 118,541〕	11,770,000 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 社会資本整備総合 交付金〕	「環境にやさしい下水道整備」をめざして、水洗化による生活水準の向上と田原川をはじめとする公共用水域の良好な環境保全のため、下水道管渠の整備を推進した。 〈内容〉 設計積算、工事監理支援業務 一式 〈事業費推移〉 令和2年度 112,477,100円 令和3年度 91,742,200円 令和4年度 8,737,800円 令和5年度 18,029,900円	上下水道課

【下水道事業会計】

(款)1 資本的支出 (項)1 建設改良費 (目)2 管渠等建設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																										
2 公共下水道（管渠）整備事業費（繰越） （下水道事業会決算書 P.24）	80,492 （参考：予算現額内訳） 〔 当初予算額 80,300 補正予算額等 192 合計 80,492 〕	80,491,180 （補助単独の別） 〔 国・府・単独 （補助制度名） 社会資本整備総合 交付金 〕 <td> 「環境にやさしい下水道整備」をめざして、水洗化による生活水準の向上と田原川をはじめとする公共用水域の良好な環境保全のため、下水道管渠の整備を推進した。 〈内容〉 ○管渠整備（面整備工事）<table><tr><th>工事名</th><th>面積(ha)</th><th>延長(m)</th></tr><tr><td>禅-1-13地区面整備工事</td><td>1.12</td><td>413.3</td></tr><tr><td>マンホールポンプ設置（MP36電気）工事</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>マンホールポンプ設置（MP36機械）工事</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>マンホールポンプ設置（MP37電気）工事</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>マンホールポンプ設置（MP37機械）工事</td><td>-</td><td>-</td></tr></table> ○水道補償費 一式 ○広域化検討業務 一式 ○全体計画変更業務 一式 〈事業推移〉<table><tr><td>令和2年度</td><td>80,284,900円</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>176,210,200円</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>138,723,800円</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>70,010,000円</td></tr></table> </td> <td>上下水道課</td>	「環境にやさしい下水道整備」をめざして、水洗化による生活水準の向上と田原川をはじめとする公共用水域の良好な環境保全のため、下水道管渠の整備を推進した。 〈内容〉 ○管渠整備（面整備工事）<table><tr><th>工事名</th><th>面積(ha)</th><th>延長(m)</th></tr><tr><td>禅-1-13地区面整備工事</td><td>1.12</td><td>413.3</td></tr><tr><td>マンホールポンプ設置（MP36電気）工事</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>マンホールポンプ設置（MP36機械）工事</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>マンホールポンプ設置（MP37電気）工事</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>マンホールポンプ設置（MP37機械）工事</td><td>-</td><td>-</td></tr></table> ○水道補償費 一式 ○広域化検討業務 一式 ○全体計画変更業務 一式 〈事業推移〉<table><tr><td>令和2年度</td><td>80,284,900円</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>176,210,200円</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>138,723,800円</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>70,010,000円</td></tr></table>	工事名	面積(ha)	延長(m)	禅-1-13地区面整備工事	1.12	413.3	マンホールポンプ設置（MP36電気）工事	-	-	マンホールポンプ設置（MP36機械）工事	-	-	マンホールポンプ設置（MP37電気）工事	-	-	マンホールポンプ設置（MP37機械）工事	-	-	令和2年度	80,284,900円	令和3年度	176,210,200円	令和4年度	138,723,800円	令和5年度	70,010,000円	上下水道課
工事名	面積(ha)	延長(m)																												
禅-1-13地区面整備工事	1.12	413.3																												
マンホールポンプ設置（MP36電気）工事	-	-																												
マンホールポンプ設置（MP36機械）工事	-	-																												
マンホールポンプ設置（MP37電気）工事	-	-																												
マンホールポンプ設置（MP37機械）工事	-	-																												
令和2年度	80,284,900円																													
令和3年度	176,210,200円																													
令和4年度	138,723,800円																													
令和5年度	70,010,000円																													